

～みんなで未来をつくろう～

錦江町「MIRAI」づくりプロジェクト

将来の錦江町を、日本を引き継ぐ子どもたち。
私たちの子どもや孫のためにいま私たちに何が出来るか、
一緒に力を合わせて、知恵を出し合って考えてみませんか？

『MIRAI』づくりプロジェクト
最新情報を公開しています。

錦江町まち・ひと・MIRAI 検索



問合せ：錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会 ☎ 0994-25-1001

いよいよスタート！国立台湾大学との共同研究事業

～町民・行政・学術機関が丸となった農産物海外展開への挑戦～

錦江町農産物の海外富裕層販売戦略策定に向け、その入り口として、鹿児島からは東京とほぼ同じ移動時間範囲である台湾市場でのテストマーケティング戦略を構築すべく、アジアトップクラスの台湾大学から学生4名と、農産品マーケティングのスペシャリストであり台湾版地方創生の理論家・実践家である台湾大学教授マークチェン先生が来町し、8月3日(金)から約2週間、錦江町で調査・分析を行いました。

1. 町を支える町民さんによるホームステイ！

8月4日～6日で、町民の皆さまにご協力頂きそれぞれ1名ずつ、合計4名の学生ホームステイを受け入れて頂きました。錦江町の生活や文化を知って頂くため、神川大滝や花瀬川での食事や観光、漁船に乗せて頂いたりBBQをしたりと、ホストファミリー様全員で錦江町を案内して頂き、滞在中心も温かく見守って頂きました。

期間中、学生たちが炎天下での調査やハードなスケジュールを乗り越えることができたのも、ホストファミリーの皆さまを始め、町民の皆さまとの温かい心の交流があったからこそ、町に溶け込み、リラックスして作業に集中でき、モチベーション向上にもつながったようです。皆さま本当にありがとうございました。

2. 農業のプロが伝えた町の現状と想い

町の農業事情や気候の特色、そして課題を調査する目的で、町内の農業事業者の皆さまにご協力を頂きお話を伺いました。生産現場や工場視察、インタビューを通して生産者の皆さまの想いを受け止め、丁寧に記録しました。学生たちは、担い手不足や耕作放棄地増加といった町の課題に立ち向かう町民の皆さまの想いに感銘を受けました。

3. お茶の販売戦略提案

8月15日(水)、錦江町での約2週間にわたる分析調査の成果報告会を開催し、会場には地元農家さんを始めとする約20名の皆さまが駆けつけて下さいました。学生の皆さんは錦江町茶葉の台湾における販売戦略を提案し、Web・SNSプロモーションの他、パッケージデザインやPR動画も合わせて紹介。「錦江町のお茶は品質の高さもさることながら、生産者の熱い想いにこれからの可能性を感じる」と語り、生産者のストーリーをPRして付加価値を高める戦略を発表しました。

非常に高度で緻密な提案に対し、参加者からは「制作して下さった品々を見て感動して胸が熱くなり涙ができました」「長期的な連携・共同事業・交流を期待しています」といった声が上がりました。



4. おわりに

町にとって重要な意味を持つこの連携事業が、温かく支えて下さる町民の皆さまや行政の皆さまのおかげで順調なスタートを切ることが出来ました。改めて心より御礼申し上げます。

このプロジェクトは、町民の皆さまのご協力なくしては達成出来ません。ぜひ錦江町にとっての大きなステップを町一丸となって取り組めればと思います。

※報告会の動画をFacebookで公開していますのでぜひご覧ください。 [錦江町「COOL アグリ 2020」](#) 検索

(「グループに参加」ボタンをクリックしてください)